

〔日時〕 2015 年 5 月 23 日（土曜日）

13 時～14 時 30 分

〔場所〕 茨城大学図書館

3 階ライブラリーホール

〔内容〕 **「横山大観の父と祖父  
が描いた地図」**

講師 **小野寺淳**（茨城大学教育学部教授）

横山大観は水戸藩士酒井喜員（捨彦）の長男として生まれ、20 歳のころ母方の縁戚である横山家の養子となりました。実父の酒井捨彦は、「常陸国全図」や「茨城県管轄輿地図」をはじめ、数多くの様々な地図を出版し、明治期における民間の地図製作者として活躍しました。しかし、酒井捨彦が作製した地図に関しては、ほとんど研究例がありませんでした。祖父酒井喜熙は、徳川斉昭の御用絵師として「皇国惣海岸図」を編纂して献上、また「関八州輿地路程全図」を刊行したことで知られています。横山大観の父と祖父、二人の経歴と作製した地図を、新たな研究成果をもとに、わかりやすく紹介いたします。

＊ 申込不要、入場無料、どなたでもご参加いただけます。

茨城が生んだ

江戸時代の地図学者